

予算特別委員会が 平成31年度当初予算を可決

予算特別委員会が設置され、3日間にわたり平成31年度の当初予算（一般・特別会計）の集中審査が行われました。

本市の平成31年度一般会計当初予算は、前年度当初対比1.9%増（9億219万2千円増）の485億3929万4千円で可決されました。

一般会計予算の歳出を性質別にみると、義務的経費が46.6%、投資的経費は40.1%となっています。

市の借金である市債の平成31年度末残高見込みは、581億475万5千円ですが、後年度に地方交付税が措置される見込みを除くと、実質的な市の将来負担額は148億7864万3千円となり、本年2月末の人口で見ると、市民一人あたり15万5千円となります。

出資金に附帯決議

予算特別委員会は、一般会計予算の株式会社とうわ地域資源開発公社への出資金およそ6500万円の計上について、「資産の適切な減価償却に努めること」、「経営および経理の専門家の十分な指導、助言を受けること」、「同社役員が経営責任を持ち、健全経営への道筋を示すこと」との内容を予算特別委員会として附帯決議をしました。

質疑のあった委員からの質問を一部掲載します。

*指定避難場所の整備

Q 避難場所のスロープ、トイレの設置状況、備蓄品の見直しは？

A スロープは一部設置されていない箇所がある。ト

イレは手すりや広めの構造を検討し、床からの寒さを防ぐため段ボールベットの数を増やしていく。

*第3セクターへの増資

Q 東和町総合サービス公社への5500万円の増資による、今後の経営計画は？

A 経営健全化を図るためコンサルティング業務の委託を行い、専門家の目で見えた経営判断をしていく。市が業務委託しているスクールバス、予約乗り合いバス部門は十分資金繰りできるが、貸切部門はコンサルタントのアドバイスを受け改善を図る。

*地域おこし協力隊の現状

Q 現在活動している協力隊員の配置場所と人数、評価は？また、3年間の期限内でミスマッチは？

A 花巻5人、大迫3人、東和1人の合計9人が現在活動している。地域ごとの

課題に新しい目線で取り組み、地域住民の協力を得ながら活動している。中途退任は現在まで4人おり、募集の際、明確な活動プロジェクト構想をもって応募してきたが、現場での本人の思いとは違った面が出てくることは当然あり得る。



市内で活躍する地域おこし協力隊員の皆さん

*東和有線放送事業

Q 東和地域における有線放送の加入率と市内外から転居されてきた世帯への対応は？

A 平成30年4月1日現在、加入率は78.4%。新たな世帯については、加入希望があれば案内をしている。

*小学生医療費助成

Q 病院窓口での支払い時に、経済的格差が表面化しないか？

A 本年8月から医療費助成分を控除して、窓口支払いする現物給付方式を開始する予定である。医師会等の関係機関と協議したが、まずは現物給付を進めることとなった。

*特別養護老人ホーム

Q 地域密着型特別養護老人ホームを3施設整備予定となっているが、現在の待機者数と設置後の待機者見込み数は？また、そこに勤務する介護職員の確保状況は？

A 昨年4月の時点で93人、整備後は定員分（87人分）待機者は減るものと考え

る。また、介護人材の確保については、さまざまな施策を通して確保に尽力していく。

***保育力の充実**

Q現時点での待機児童数と保育士の確保状況は？

A本年3月1日現在、88名の待機児童がいる。平成31年度当初の予測は、例年と同様の30名程度の待機者になると思われる。

また、保育士確保については、各法人を調査した結果、採用予定者76名に対し、51名の採用となっており、充足率は67%の状況となっている。

***岩手医大矢巾新付属病院への連絡バス**

Qバス運行の委託先が決定した経緯、運行経路の見直しは？

A一般乗合旅客自動車運送事業者として登録され

定期路線を運行している業者は、岩手県交通と東和町総合サービス公社の2社であり、岩手県交通は行わないとの回答であった。また、運行経路については、所要時間を考慮して、花巻駅から石鳥谷駅を経由し新病院へ向かうルートとした。



整備が進む岩手医大矢巾新付属病院

***ロタウイルス予防接種**

Qロタウイルス予防接種費用の助成についての周知方法は？

A母子健康手帳交付時に説明をする。ワクチンは

2回接種のものと3回接種のもの2種類がある。どちらも費用は2万5000円前後で、その半分を助成する。対象者は乳幼児512人を見込んでおり、接種率は80%を見込む。

***放射能汚染の原木ホダ木**

Q原木ホダ木の処理が必要な量と計画は？

A現在未処理の汚染されたホダ木は、791トンあり、平成31年度に処理する計画である。

***牧野の管理状況**

Q市営牧野の管理状況は？

A大迫の宇瀬水牧野は花巻農業振興公社に指定管理をしており、東和の五輪牧野は花巻市森林組合と業務委託をしている。人材不足の懸念がある

ながら人材確保の体制を

作っていききたい。紫波町や矢巾町、遠野市からも入牧があり、大変好評をいただいている。

***森林経営計画**

Q計画をどのように推進？

A森林の経営計画は30ヘクタール以上の区画とし、市と一緒に作る場合と単独で作る場合があるが、単独で作る場合へクタールあたり3万円の支援を行う。

***森林施業プランナー**

Qプランナーの育成支援は？

A森林経営計画を立てるためには、専門的な知識が必要である。現在、花巻市森林組合に2名在籍しているが、今後プランナーの育成が必要であることから研修費用の2分の1を助成する。

***産業団地整備**

Q団地整備に5千万円ほど計上されているが、以前7カ所の候補地があったが1カ所に絞ったのか？

A候補地を絞り切れていない。企業の要望としては、北上市や金ヶ崎町に近いところ、かつ、交通インフラの優れたところとの希望があり、花南地区が適地ではないかと考えている。

***花巻スマートインターチェンジ**

Q整備費用の国、県、市の負担は幾らか。また、上り線・下り線の入り口を間違えたら戻れないのでは？

A費用負担は国土交通省、ネクス・東日本、県、市との間で現在、実施計画策定中であり、その後費用負担が決まる。

本市のスマートインターの入り口は、上り線と